

あゆみ



ボーイスカウト荖崎第1団
10周年記念誌



ち か い

私は、名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

1. 神（仏）と国とに誠を尽くしおきてを守ります。
1. いつも、他の人々をたすけます。
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

お き て

- | | | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|---|----|
| 1. スカウト | は | 誠 | 実 | で | あ | る | |
| 2. スカウト | は | 友 | 情 | に | あ | つ | い |
| 3. スカウト | は | 礼 | 儀 | 正 | し | い | |
| 4. スカウト | は | 親 | 切 | で | あ | る | |
| 5. スカウト | は | 快 | 活 | で | あ | る | |
| 6. スカウト | は | 質 | 素 | で | あ | る | |
| 7. スカウト | は | 勇 | 敢 | で | あ | る | |
| 8. スカウト | は | 感 | 謝 | の | 心 | を | もつ |

スローガン

- スカウトのモットー
- カブスカウトのモットー
- ビーバースカウトのモットー

日 日 の 善 行

- そなえよつねに
- い つ も 元 気
- な か よ し

カブスカウトのやくそく

- ぼくは まじめに しっかり やります
ぼくは カブ隊のさだめを 守ります
カブ隊のさだめ
1. カブスカウトはすなおであります
 2. カブスカウトは自分のことを自分でします
 3. カブスカウトはたがいに助けあいます
 4. カブスカウトはおさないものをいたわります
 5. カブスカウトはすすんでよいことをします

ビーバースカウトのやくそく

- ぼくは みんなとなかよくします
ビーバーたいのきまりをまもります
ビーバーたいのきまり
1. ビーバースカウトは
げんぎにあそびます
 2. ビーバースカウトは
ものをたいせつにします
 3. ビーバースカウトは
よいことをします



ボーイスカウト荊崎第一団の 創立十周年を祝して

荊崎町長 石川 玄蔵

ボーイスカウトの皆さんおめでとうございます。創立十周年を迎えるとお話を聞いて私も大変うれしく思います。

皆さんが町民運動会や文化祭に協力参加して活躍するお姿を拝見して、いつも頼もしく思っております。

ボーイスカウトの皆さんはこのような社会奉仕と共に自分を磨くためにキャンプ、登山、スキー、スケート、アマチュア無線と多方面にわたり体を通しての訓練に努力されています。

健全な青少年は「知育、徳育、体育」の三つが正常に育成されてこそよろこばしいのであって偏ってはなりません。学校が学校週五日制を実施しようとしている意義もそこにある訳です。ボーイスカウトが率先しておやりになっているボランティア活動もその意味で他の多くの青少年にいい影響を与えております。

そしてこのボーイスカウト活動を奉仕で支えてくださっているリーダーの方々のご努力を忘れてはなりません。

健全な青少年は明日の荊崎町を背負って立つ「町民のホープ」であります。ここにボーイスカウト荊崎第一団の益々のご繁栄を祈念いたしまして、創立十周年のお祝の言葉といたします。



発団 10 周年を祝して

荊崎町教育長 鈴木 昭夫

未来の担い手であります子供達の健全な育成を目指して、組織的に、しかも意図的、計画的に実践活動しておりますボーイスカウトの本田団長そして指導者の皆様心から敬意を表します。また皆様のたゆまぬ努力と団結によって、発団10周年をめでたく迎え、この度の記念誌の発刊まことにおめでとうございます。

荊崎町ボーイスカウトの10年の歩みは、わが町のボランティア活動の貴重な歩みでもあり、発刊に心またれるものがあります。

本町は豊かな文化と福祉の町づくりに町民一体となって進めておりますが、貴団体の活動には、青少年の健やかな心身の育成に

一翼を担っていただいております。

とくに昨年の9月より学校週5日制の実施に伴い、貴団体の活動目標としております子ども達との自然体験、文化的な体験、社会的な体験、身体的な体験、心の体験など広範囲な体験や実践は、学校教育を支える、ボーイスカウト（地域社会）の教育力によせる期待が益々大きいことを申し上げ、お祝の言葉といたします。



発団10周年に寄せて

名誉育成会会長 小池 巳好

このたび、ボーイスカウト荻崎第1団が発団10周年を迎えられましたことは、まことにお目出たく、ご同慶に存じる次第であります。

発団当時は青少年の非行の増加及び、低年齢化に対して教育上その対策に大変な努力の必要とされた時期でありました。

本町におきましても、社会教育におけるボーイスカウトの訓練の内容が最も適切なるものとの考えから関係者の熱心なる討議の結果結団されたこととございますが、当時隣市の牛久団、県連盟及び第5地区のそれぞれの役員の方々の御指導とご尽力による賜

であったことと存じます。

本団は結団以来、智徳体の均衡のとれた健全な育成と、これに加えて奉仕の精神を基本として、町の各種公的行事にも参加され活動も活発につづけて参って居るところでございます。

これからの活動の基本はやはり、底辺の拡大をいかに推進するかであると思ひます。地域にあって地域ぐるみの活動の確立を目指し、今後も精進いたしたく存じます。

どうか関係者におかれましては、尚一層のご指導とご協力をせつをお願いいたします。

最後に団員の皆さんの一層の活動をご期待申しあげましてご挨拶いたします。



ボーイスカウトに寄せて

育成会会長 安食 実

人は支え合っているのでひとという字ができたという面白い解釈があります。人間教育の三本柱、学校、家庭、社会の一本をボーイスカウトは支えております。奉仕的な指導者と寝食を共にし、体を通して教えられ、共に考え、行動するという、教育の基本を地でいっていると思ひます。現在の教育者が、よい点数をとり、よい学校、よい会社のテストに合格することを目標とした功利的な点数主義になってしまったことに、青少年の悲しみがあります。

教育とは、良い子、悪い子、できる子、できない子に分けることではなく、どの子の中にもある美しいもの、すばらしいものを掘

り起こしていくことなのです。自分で物を考えるのには、私たちはなにをしたらよいか、やたらと知識の注入でなく、一人のできるように手助けすることが、親、教師、リーダーの仕事なのです。

ボーイスカウトの諸君の活動を見ていますと、この教育のすき間を埋めるのに大切な働きをしてくれるという発見をして、私は大変嬉しく思うし、微力ではあるけれど、育成会長という責任のある役目に誇りをもっております。勉強というと、受験技術、ペーパーテストの点数主義と思ひ、ひたすら走らされている青少年に「ボーイスカウト」に入って、友と一緒に青春を語り合っほしいと願わずにられません。



発団10周年に寄せて

前団委員長 金井 晃

荊崎第1団が発団10周年を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

あらためて歳月の速さに驚くとともに、昭和58年3月の発団式は関係者に支えられての第一歩でした。スカウト諸君は初々しさと寒さから震えていたこと、お父さん方が雨の中道案内に、お母さん方は来賓のお世話をされていた事などが昨日のように思えます。

荊崎第1団のモットーは、保護者全員が何かの役職につき、スカウトと共に活動することにより共通の理解を持つこと、加えて地域の関係者に理解を得て発展充実していこうとしたことであります。

この間、賛助会員、地域の団体、町、関係団の温かいご支援を得ながら、スカウトは年々増えて3倍以上になり、ビーバーからローバーまで順調に発隊し、菊賞の誕生や海外研修、日本ジャンボリー等の隊外活動に参加できたこと、地域、町の諸行事への奉仕活動に対し、県から「ばら賞」をいただくこともできました。

また、スカウトは社会人、大学生と巣立つなかでリーダーとして活躍し、リーダー、団委員の方々には、地区・県連等と団・隊外にも貢献されるなど、スカウティング以外にも交流の輪ができました。今後もスカウト出身のリーダーが多く育つことと、この輪が更に広がりますよう期待しております。

最後に、関係者皆様方の永年のご奉仕・ご支援に感謝申し上げ、新しい世紀に向けて青少年の育成とともに、荊崎第1団の今後のますますのご発展と立派なスカウトが輩出されますようお祈りし、お祝いのことばといたします。

おめでとうございます。



発団10周年に寄せて

団委員長 本田 眞之

早いものでボーイスカウト荊崎第1団が誕生してから10年が経過しました。

昭和57年、当時荊崎地区の子供達がお世話になっていた、牛久第1団の方々を通じ荊崎も独立してはとの働きかけをうけ、発団準備委員会が設けられ、第5地区の役員の皆様をはじめ牛久第1団の皆様のご指導と荊崎町の関係者の皆様のご支援を得て、牛久第1団からの分封をすることとなりました。

翌、昭和58年に、育成会会長に、小池巳好先生をいただき、団委員長に金井晃氏のもと、カブスカウト33名を以て発団し、

現在は、100名のスカウトを擁するまでになり、ビーバー隊、ボーイ隊、シニア隊、ローバ班の4隊1班に所属し、夏期のキャンプ、冬のスキー、そして社会への奉仕にとスカウト活動を通じて尊い経験を積んでおります。

これ偏に、皆様方のご理解とお力添えがあったればこそと深く感謝申し上げます。

この10周年を新たなステップとして、恵まれた自然のもと、さらなる発展と充実にむけて歩み続けたいと思っておりますので、皆様方の今迄同様のご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



10年のあゆみ

- 昭和57. 7 設立準備委員会発足
- 58. 1 育成会総会
- 3 発団式
- 10 第6回茨城県カブラリー参加〔水戸市〕
- 59. 4 ボーイ隊発隊
- 60. 4 シニア一班発隊
- 8 関東キャンポリー参加〔榛名山麓〕
- 61. 8 第9回日本ジャンボリー参加〔蔵王山麓〕
- 62. 4 カブ隊日本連盟5年級受賞
- 10 第7回茨城県カブラリー参加〔洞峰公園〕
- 平成元. 4 シニア一隊発隊
- 4 ボーイ隊日本連盟5年級受賞
- 8 第12回茨城県キャンポリー参加〔那珂町〕
- 2. 8 第10回日本ジャンボリー参加〔妙高高原〕
- 11 茨城県「ばら賞」受賞
- 3. 4 ローバー一班発隊
- 8 第17回世界ジャンボリー参加〔韓国〕
- 8 シニア一隊海外研修旅行〔シンガポール〕
- 9 会計年度の変更
- 4. 5 第2回シニアスカウト訓練参加〔勝田市〕
- 5 ビーバー一隊発隊
- 8 第3回シニアベンチャー参加〔滋賀他〕
- 11 5地区カブラリー参加〔乙戸沼青少年の家〕



☆ 菊賞スカウト受賞者

60年度	金井 崇 出見 宏之 戸塚 修治
62年度	吉川 敢 川瀬 貴志
2年度	伊藤 正一 吉川 学 出見 俊明
3年度	松元 慶樹 窪田 直之 前田 竜平 楠瀬 将人

☆ 指導者表彰

5年級表彰（日本連盟）

63年度	金子 良子
元年度	松元 優 大澤 康夫 永井 春男
4年度	木村 尚孝 関根 洋幸 相沢 東夫 松永 敦夫

ウッドバッチ研修所・団運営研修所受講者

年度	ウッドバッチ 研 修 所				団運営研修所 (団委員長特修所)
	ビーパー課程	カブ課程	ボーイー課程	シニア課程	
56		西村 克子⑧ 吉川 忍(千葉県連)			
57		出蔵 八郎⑨			
58		田代 孝之⑩ 松元 優⑩	金井 晃⑨ 松元 優⑨		金井 晃② 小根山成男②
59		大澤 康夫⑫ 金子 良子⑫ 柴崎 静子⑬	永井 春男⑩ 出蔵 八郎⑪		
60		今井日出雄⑭ 伊藤 正一⑭ 真田 静⑭		松元 優⑭	
61		尾見 秀子⑮ 木村 尚孝⑮			
62			相沢 東⑭		
63			木村 尚孝⑮		
元		田村 文男⑯	鈴木 正巳⑯		
2			須能 和好⑰ 林 隆⑰		
3				横田 紀男⑨ 矢口 正美⑨	
4		土屋 良男⑰ 刀祢 佳明⑰ 矢口 正美⑰	内田 智作⑱ 山岸 藤雄⑱		松本 安蔵①
5	中谷加世子② 矢口 正美②		倉林 清⑱	刀祢 佳明⑩	

注……○内は、茨城県連盟主催開催回数

5 地区歴代各種委員会

年度	組織拡張	指導者養成	進 歩	野営行事	健康安全	財 政
61			出蔵八郎	吉川 忍		
62			田村文男	岩崎勝行		
63		吉川 忍	若林良樹	岩崎勝行		
元	関根洋幸	吉川 忍	林 隆	萬波鎮夫		本田眞之
2	関根洋幸	吉川 忍	森 昌子	萬波鎮夫		本田眞之
3	関根洋幸	松本安蔵	森 昌子	山岸藤雄	遠藤かつ子	本田眞之
4	関根洋幸	松本安蔵	和田成子	滝沢優次郎	遠藤かつ子	本田眞之
5	林 隆	松本安蔵	和田成子	若林良樹	遠藤かつ子	中西 寛

特別訓練実地調

年度	ビーバー隊		カブ隊		ボーイ隊		シニア隊・ローバー班	
	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期
58	—	—	あすなろ の里	日光湯元 スキー場	—	—	—	—
59	—	—	県白浜 少年の家	尾瀬戸倉 スキー場	浮島 キャンプ場	志賀高原 スキー場	—	—
60	—	—	県さしま 少年の家	日光湯元 スキー場	関東キャン ポリー	〃	関東キャン ポリー	志賀高原 スキー場
61	—	—	栃木烏山 青年の家	〃	浮島 キャンプ場	〃	浮島 キャンプ場	〃
62	—	—	栃木芳賀 青年の家	〃	常陸太田市 北沢キャンプ場	〃	常陸太田市 北沢キャンプ場	〃
63	—	—	栃木烏山 青年の家	〃	大子町 八溝山麓	〃	大子町 八溝山麓	〃
元	—	—	県白浜 少年の家	〃	県キャンポ リー (那珂)	〃	県キャンポ リー (那珂)	〃
2	—	—	県さしま 少年の家	〃	浮島 (北茨城) 10NJ	〃	浮島 (北茨城) 10NJ	〃
3 (満)	—	—	県白浜 少年の家	—	花園・17 WJ (韃)	—	海外研修 (シンガポール)	—
4	—	—	里美研修 センター	日光湯元 スキー場	里美研修 センター	志賀高原 スキー場	里美・3 ベンチャー	志賀高原 スキー場
5	—	日光 湯元	—	〃	—	〃	—	〃

スカウト隊別調

(単位：人)

年 度	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5
ビーバー隊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
カブ隊	33	37	39	31	32	35	38	44	34	28	18
ボーイ隊	—	15	22	29	33	38	30	33	42	42	57
シニア隊	—	—	4	5	6	8	10	15	15	15	11
ローバー班	—	—	—	—	—	—	—	5	9	8	11
計	33	52	65	65	71	81	78	97	100	93	102